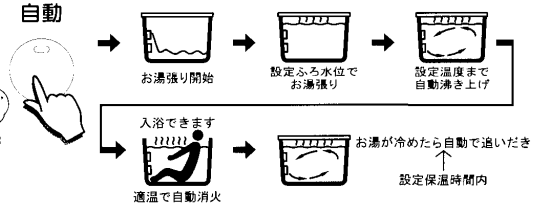
操作ダイジェスト

おふろを沸かすときは

自動



ふろ自動運転

お湯を使うときは

給湯温度を確認します。➡ 給湯栓を開けます。

給湯温度

A ▲

B ▼

➡ 給湯温度はお好みに応じて設定できます。

37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 | 50 55 60℃

音声ガイドで高温をお知らせ

給湯

おふろがぬるいときは

追いだき

➡ 浴槽のお湯の温度が上がります。

追いだき

お好みの湯かげんになったら、もう一度押します。

追いだき運転

おふろのお湯が少ないときは

たし湯

➡ お湯が出て浴槽のお湯が増えます。

たし湯

途中でたし湯をやめるときは、もう一度押します。

たし湯運転(ふたを開ける)

おふろが熱いときは

ぬるく

➡ 水が出て浴槽の温度が下がります。

ぬるく

お好みの湯かげんになったら、もう一度押します。

ぬるく運転(ふたを開ける)

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

お願い　ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。

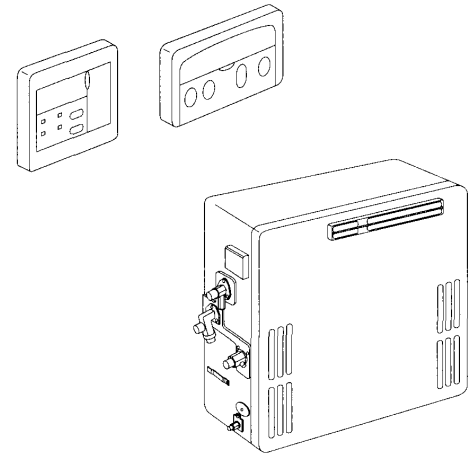
JZ0012

自動タイプ　屋外設置形　(BL 認定品)

ガスふろ給湯器

32-508 型

型式名　GN-160AR-1



取扱説明書

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器（自動タイプ）をお買い上げいただき、ありがとうございました。
※取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

この製品の特長

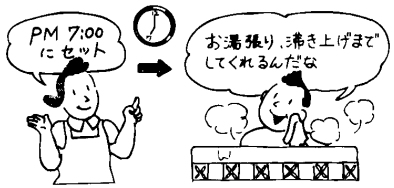
快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

●おふろもシャワーも給湯も、
これ1台でOK。

●スイッチオン!の簡単操作で
おふろが沸かせます。
（→P.17参照）

●予約タイマー付きだから、
忙しい方もお好きなときにバスタイム。
（→P.33参照）



●付属の台所リモコン、または別売品の増設リモコンをお使いになれば、浴室まで行かなくても、台所などからふろ自動運転や予約運転ができます。

快適です!

●おふろのお湯の温度を自動的に
保温します。
いつも快適なおふろです。
（→P.17参照）

環境にもやさしい!

●浴室リモコンと台所リモコンの画面表示は、何も操作しないとき、画面が消える「省電力モード」つきです。電気の節約になります。
（→P.37参照）

安全に正しくお使いいただくために…… 3
この取扱説明書の表示について
機器本体の表示について
必ずお守りください…… 4
特にご注意ください…… 5
日常の使用上の注意…… 6
設置する場所や状況について…… 10
各部の名称とはたらき…… 11

ご利用前の準備…… 15
機器の準備…… 15
リモコンをONにする…… 15
リモコンの時刻を合わせるには…… 16

おふろを沸かすには…… 17
ふろ自動運転について…… 17
沸かす前の準備と確認…… 17
ふろ温度の設定…… 18
保温時間の設定…… 19
ふろ水位の設定…… 20
自動運転を行う…… 21
沸かし直しをするには…… 23
次回からの毎回の操作…… 24
お湯を使うには…… 25
操作の基本…… 25
優先の切替えについて…… 26
給湯温度の調節…… 27
ぬるくなったお湯を熱くするには（追いだき） 29
お湯をぬるくするには…… 31
お湯をたしたいときには…… 32

おふろが沸く時間を予約する…… 33
予約運転をする前には…… 33
予約時刻の合わせ方…… 34
予約運転をONにする…… 35
予約に関するその他の操作…… 36
電気を節約した表示方法にする…… 37
浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）…… 39
チャイムや音声ガイドの音量を調節する… 40

冬期の凍結予防をするには…… 41
点検のポイント・お手入れのしかた…… 45
故障かな?と思ったら…… 47
アフターサービスについて…… 50
仕様一覧…… 51

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■
この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危 険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

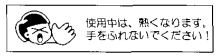
⚠警 告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

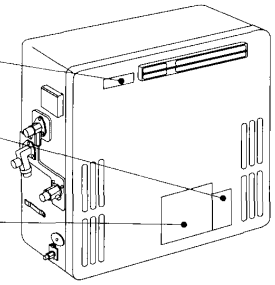
⚠注 意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

（→P.XX参照） 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について■





やけど注意
●排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

銘板
●型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

使用上の注意
●使用上の注意について表示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠危 険

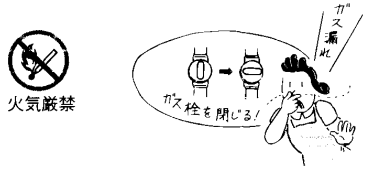
屋外用ガス機器
●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。不完全燃焼を起こし、大変危険です。

⚠警 告

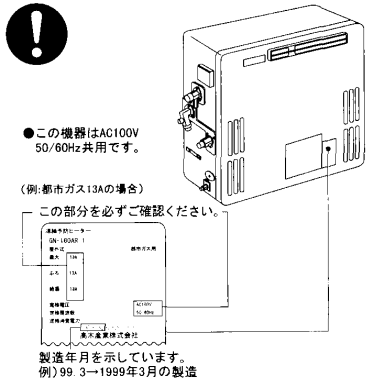
機器設置（および付帯工事）
●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後に機器を波板などで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

ガス漏れ時の処置
●ガス漏れに気づいたときは、すべての処置が終るまでのあいだ絶対に機器の運転をしたり、機器の近くで電気器具のスイッチの入・切や火を近づけたり、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災になることがあります。
①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。
②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



使用ガス、使用電源について
●銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する。表示のガスおよび電源が一致しないと使用できない。もし、使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、また機器が故障する場合があります。
●転居されたときも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめる。
●わからない場合はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



特にご注意ください

⚠警 告

火災予防

(可燃物に注意)

●機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。

●排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。

(スプレー缶厳禁)

●機器の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

(引火のおそれがあるものの使用禁止)

●機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。

異常時の処置について

① 給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用途中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。

② 本書の「故障かな?と思ったら」(47～49ページ)に従って処置をする。

③ 上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

● 地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉じる。

給湯栓・ガス栓を閉じる

入浴時の注意

●浴槽に入るときは、手で湯温を確認して入浴する。不測の場合、やけどのおそれがあります。

●追いだき中や追いだき直後は、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

給湯・シャワーを使うとき

●やけど防止のため出始めのお湯はいきなり体にかけない。万一の機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。

●給湯使用時は出湯管(蛇口)が熱くなるので、やけどに注意する。

●シャワーを使うときに最初に熱いお湯が出ることがあるので注意する。手で温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。

●シャワー、給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

お子様には十分な注意を

●浴槽の循環口の付近で水に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながることがあります。

●浴槽にお湯張りしているときや沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながることがあります。

ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。接続はお買い上げの販売店または大阪ガスが行いますので、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。

分解禁止

分解しない

●お買い上げの販売店または大阪ガス以外の人による分解、修理・改造は絶対に行わない。異常作動して事故の原因となります。

日常の使用上の注意

⚠注 意

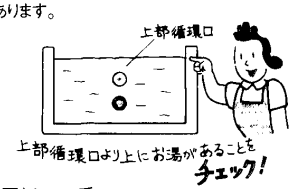
用途についての注意

●一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながることがあります。

●車両・船舶への搭載はしない。
振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

空だき防止

●**追いだき**スイッチを押すときは、必ず浴槽の上部循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。循環口がひとつの場合は、その循環口より上に湯(水)があることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



循環口について

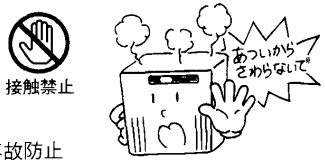
●上部循環口のキャップを外したりしない。
浴槽の湯が循環不良で局部的に高温となり、やけどのおそれがあります。

ソーラー機器について

●ソーラー機器とは絶対に接続しない。
夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。

やけどに注意

●機器の使用中または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。



電気事故防止

●電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。

●傷んだプラグ、コードは使わない。
差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

●電源プラグのほこりは、拭き取る。発火の原因になります。

●濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。

●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。

●この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。

アースを接続せよ

日常の使用上の注意

お願い

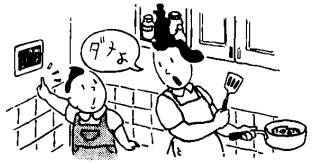
市販の補助用具について

●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
●市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
●やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
●混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

分解禁止

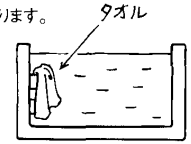
●リモコンは分解しないでください。
誤動作や故障の原因となります。
●台所リモコンには水をかけないでください。
浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。スピーカー部に水がかかると音声が小さくなることがあります。
●リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。



入浴時の注意

●浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良でおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障原因になります。
●循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。
機器の故障の原因になります。

禁　止



飲用にお使いのときは

●機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

凍結についての注意

●凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP. 41「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

●機器や配管が損傷した場合、高額の修理費がかかります（有料）。
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P. 43「再使用するとき」の項以下の操作を行ってください。

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

●落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電時は給湯栓を閉じてください。
●再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
●50分以上の停電のときは、リモコンの再設定が必要です。
●自動でおふろを沸かしているときに、停電になると、自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、再度、**運転**スイッチを押し、**自動**スイッチを押してください。（→P. 21 参照）

給湯栓を閉じる

断水のとき

●断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの**運転**スイッチを切ってください。

入浴剤や洗剤についての注意

●強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ機器への悪影響がないものをご使用ください。
●ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。
このような入浴剤はご使用を避けてください。
●薬草やゆず、薬草入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。

禁　止

日常の使用上の注意

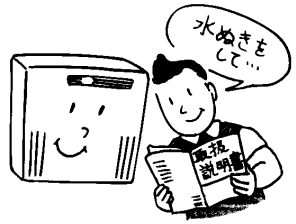
お願い

用途についての注意

●本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が短くなることがあります。

長期間使用しないときは

●この取扱説明書P.42の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



ガス事故防止のために

●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

日常の点検・お手入れ

●日常の点検、お手入れをしてください（詳しくはP.45をご覧ください）。

●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

●循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターがつまると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上る前に消火することがあります。

●浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。

設置する場所や状況について

お願い

可燃物との離隔距離

●機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください（不明な点は販売店へご相談ください）。

給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

排気ガス

●排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。

●排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。

塩害

●海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。
機器が腐食し、故障の原因になります。

設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください（工事担当者とご相談ください）。

●足場などを組んだり、ハシゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

塩ビ管の使用について

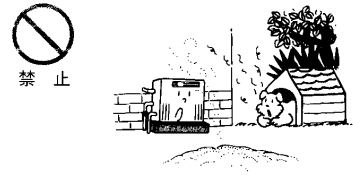
●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

●地下水や温泉水、井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質や水圧（使用水圧が安定しているか）を確認してください。水圧が十分でないと機器が正しく作動しないことがあります。

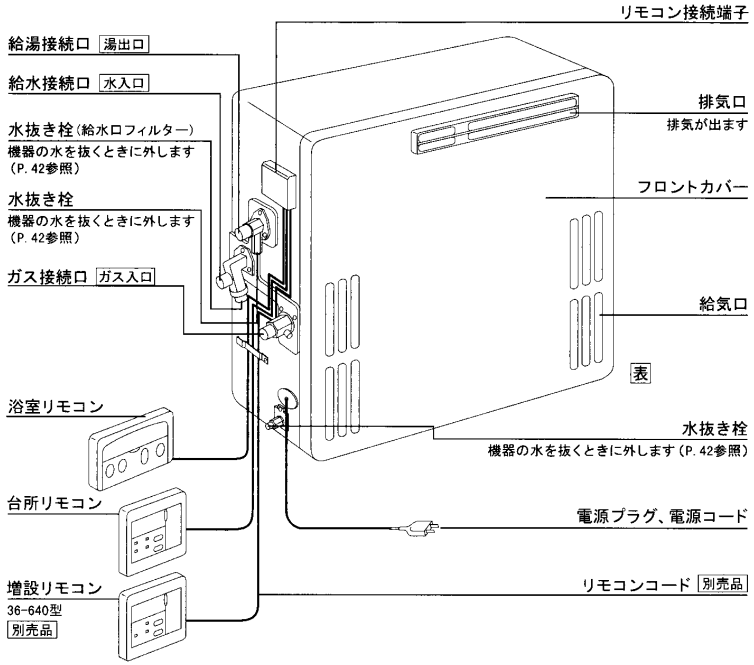
ほこり

●砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

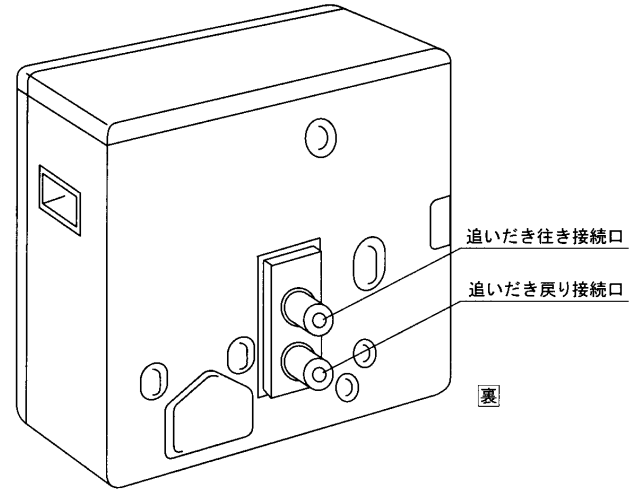


各部の名称とはたらき

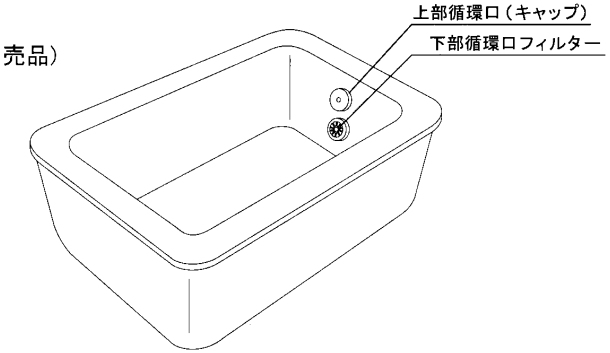
■機器本体



この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

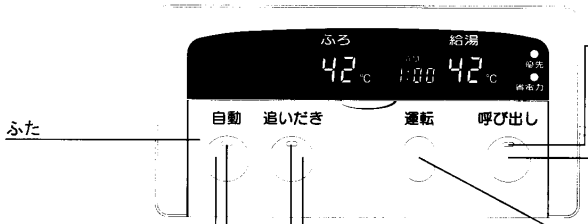


■浴　槽（別売品）



■浴室リモコン（浴室についています）　（付属品）

給湯やおふろ沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。台所リモコンや別売の増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作（一部の操作）することもできます。通常はふたを閉じておいてください。



ふた

呼び出しランプ
呼び出し中に点灯、点滅（ミドリ）します。

呼び出しスイッチ
浴室外にある台所リモコンに呼び出しチャイムと音声ガイドが流れます。（→P. 39参照）

運転スイッチ
操作するとき最初に「ON」にします。「ON」にすると給湯温度などが表示されます。（→P. 15参照）

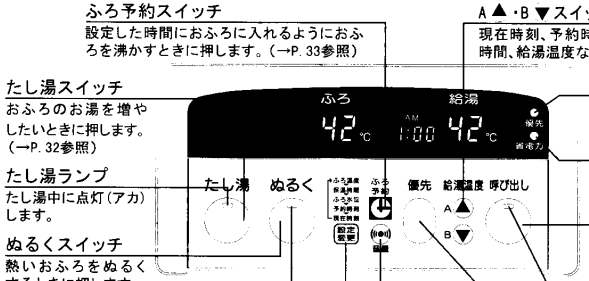
自動スイッチ
設定した温度・水位で自動的におふろを沸かします。（→P. 21参照）

自動ランプ
自動運転中に点灯（自動でおふろを沸かすとき、保温に入る前はアカ、保温に入るとミドリになります）します。

追いだきスイッチ
おふろがぬるくて熱くしたいときに押します。（→P. 29参照）

追いだきランプ
追いだき中に点灯（オレンジ）します。

浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。



ふろ予約スイッチ
設定した時間におふろに入れるようにおふろを沸かすときに押します。（→P. 33参照）

A▲・B▼スイッチ
現在時刻、予約時刻、ふろ温度、ふろ水位、保温時間、給湯温度などを調節するときに押します。

たし湯スイッチ
おふろのお湯を増やしたいときに押します。（→P. 32参照）

優先ランプ
優先があるときに点灯（ミドリ）します。

省電力ランプ
省電力モードのとき点灯（ミドリ）します。

たし湯ランプ
たし湯中に点灯（アカ）します。

呼び出しスイッチ
浴室外にある台所リモコンに呼び出しチャイムと音声ガイドが流れます。（→P. 39参照）

ぬるくスイッチ
熱いおふろをぬるくするときに押します。（→P. 31参照）

呼び出しランプ
呼び出し中に点灯、点滅（ミドリ）します。

ぬるくランプ
ぬるく運転中に点灯（オレンジ）します。

優先スイッチ
給湯温度調節の優先を、台所リモコンまたは浴室リモコンに切替えるときに押します。（→P. 26参照）

設定変更スイッチ
ふろ温度、保温時間、ふろ水位、予約時刻、現在時刻などの設定を切替えるときに押します。（→P. 16, 18, 19, 34参照）

音量スイッチ
音量（音声）を調節するときに押します。（→P. 40参照）

メモ　給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。

給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示の補足説明

燃焼中は左右に動きます。

■浴室リモコンの画面表示

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確めることができます。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

ふろ燃焼表示
ふろ燃焼中に表示します。

予約表示
予約スイッチが「ON」のとき表示します。

給湯燃焼表示
給湯燃焼中に表示します。

スピーカー
設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

給湯温度表示
給湯の設定温度を℃で表示します。

ふろ温度表示
おふろの沸き上げ設定温度を℃で表示します。

現在時刻表示
現在時刻を表示します。

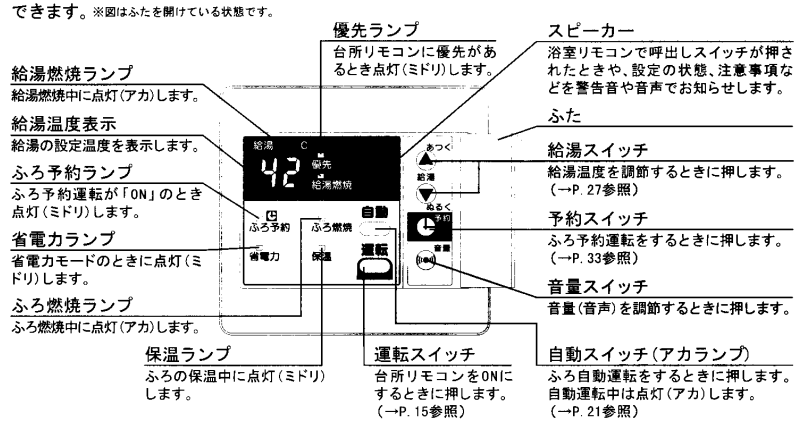
保温時間
おふろの設定保温時間を表示します。

予約時刻表示
おふろが沸く時刻を表示します。

ふろ水位表示
おふろの設定水位をℓで表示します。

■台所リモコン　（付属品）

台所に設置して使用します。給湯のスイッチを入れたり、ふろ沸かしの自動運転、予約運転などが操作できます。※図はふたを開けている状態です。



優先ランプ
台所リモコンに優先があるとき点灯（ミドリ）します。

スピーカー
浴室リモコンで呼出しスイッチが押されたときや、設定の状態、注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

給湯燃焼ランプ
給湯燃焼中に点灯（アカ）します。

ふた

給湯温度表示
給湯の設定温度を表示します。

給湯スイッチ
給湯温度を調節するときに押します。（→P. 27参照）

ふろ予約ランプ
ふろ予約運転が「ON」のとき点灯（ミドリ）します。

予約スイッチ
ふろ予約運転をするときに押します。（→P. 33参照）

省電力ランプ
省電力モードのときに点灯（ミドリ）します。

音量スイッチ
音量（音声）を調節するときに押します。

ふろ燃焼ランプ
ふろ燃焼中に点灯（アカ）します。

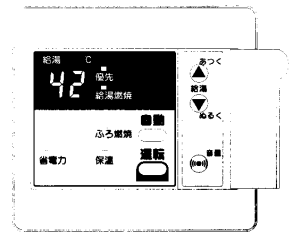
保温ランプ
ふろの保温中に点灯（ミドリ）します。

運転スイッチ
台所リモコンをONにするときに押します。（→P. 15参照）

自動スイッチ（アカランプ）
ふろ自動運転をするときに押します。自動運転中は点灯（アカ）します。（→P. 21参照）

■増設リモコン　36-640型（別売品）

浴室や台所以外の部屋から、運転スイッチのON／OFF、給湯温度調節、自動運転が操作できます。
各部のはたらきや使い方は台所リモコンと同じですが、ふろ予約運転は操作できません。

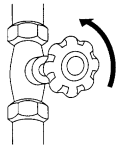


ご利用前の準備

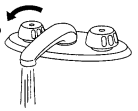
■機器の準備

1 この取扱説明書のP.45の内容に従って、機器や機器周辺の点検・確認を行います。

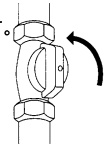
2 給水元栓を全開にします。
機器の側部にあります。



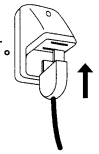
3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。



4 ガス栓を全開にします。
機器の側部にあります。

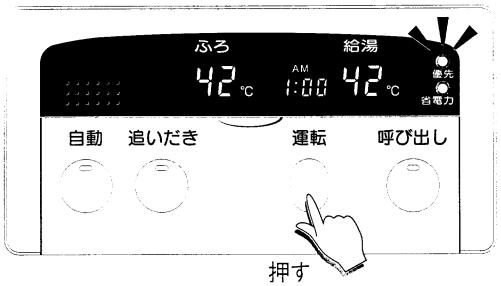


5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



■リモコンをONにする

1 浴室リモコンまたは台所リモコンの**運転**スイッチを押します。
リモコンの画面が図のようになります。
運転スイッチを押したリモコンには、優先ランプ(ミドリ)が点灯します。
ふろ、給湯を使わないときは、**運転**スイッチをもう一度押します。
リモコンが「OFF」の状態になり、画面表示とランプが消えます。
(浴室リモコンは、時刻表示は消えません。)



画面表示
優先ランプが点灯

●出荷時の給湯温度、ふろ温度は42℃になっています。

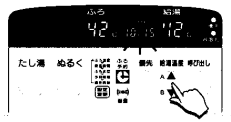
はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします
以下のような手順で準備ができたら、リモコンのスイッチを入れてみましょう

■リモコンの時刻を合せるには　リモコンの時刻表示を現在時刻に正しくセットしましょう。

1 浴室リモコンがONになっていて画面が表示されているか確認します。
リモコンがOFFのときは、
運転スイッチを押します。

2 浴室リモコンのふたを開け、**設定変更**スイッチを押します。
時刻表示が点滅し、
音声ガイドが**"現在時刻です。Aを押すと時の位が変わります。Bを押すと分の位が変わります。"**と
2回お知らせします。

3 **A▲** スイッチ・**B▼** スイッチを押して、現在時刻を合わせます。
A▲ スイッチは時の位、**B▼** スイッチは
分の位が調節できます。
これらのスイッチは、時刻表示が
点滅している間(約10秒間)に押します。
図は午前10時15分にセットしたことを示します。
設定したあと何もスイッチを押さないで10秒たつと、
時刻表示の点滅が止まり、音声ガイドが
"現在時刻セットされました。"とお知らせします。



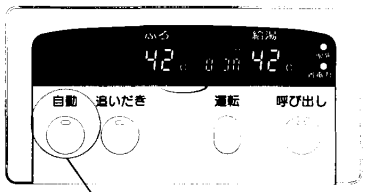
4 現在時刻が表示されていることを確認し、リモコンのふたを閉じます。

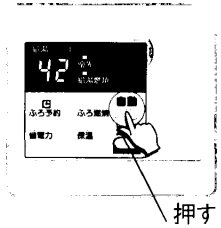
ご注意ください
- ●出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。
  時刻をセットするときはAM(午前)・PM(午後)に注意してください。
- ●初回の時刻合わせは、**設定変更**スイッチを1回押せば、次の操作ができます。
  その後、時刻を直したい場合は、設定変更スイッチを5回押してください。

●**A▲** スイッチ **B▼** スイッチは、押し続けると数字が連続して変わります。
●時刻表示が点滅しているとき、何のスイッチも押さずに10秒たつと元の状態に戻ります。

おふろを沸かすには

■ふろ自動運転について　ふろ自動運転とは、浴室リモコンや台所リモコンの**自動**スイッチを押すと、以下の動作を機器が自動的に行うものです。お湯の入れ過ぎや沸かし過ぎがなく、上下均一に沸きます。





はじめてお使いのときは、以下の設定で自動運転されます。

●ふろ温度　42℃　●ふろ水位　180ℓ（18ﾒﾓﾘ）　●保温時間　4時間

これらをお好みに応じた値にセットすることができます。

一度セットすれば、次回からは**自動**スイッチを押すだけで、おふろが沸きます。

■沸かす前の準備と確認　ふろ自動運転を行う前の準備をします。

1 排水栓をします。

おふろを沸かす前に必ず、排水栓をしてください。

2 浴槽のふたをします。

浴槽にふたをしたままお湯張りができます。

お願い ●排水栓をし忘れると、自動運転中、浴室リモコンに“252”が点滅し（台所リモコンには“25”とふろ燃焼ランプ（アカ）が点滅し）、運転が停止します。この場合は、排水栓をして**運転**スイッチをOFFにし、3秒経過してから再度**運転**スイッチをONにして自動運転を行ってください。

ご注意ください

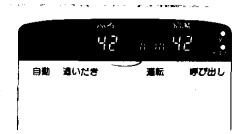
●保温中におふろに入っているときは、湯温を保つため、突然循環口より熱いお湯が出ることがありますので、注意してください。

おふろに水を入れて沸かし、ぬるくなったらまた沸かす　という浴室を行ったり来たりする面倒な作業はもういりません　「ふろ自動運転」により、スイッチをワンタッチするだけで簡単におふろが沸かせます

■ふろ温度の設定　浴槽に張るお湯の温度をセットします。

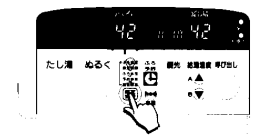
1 浴室リモコンがONになっていて画面が表示されているか確認します。

リモコンがOFFのときは、**運転**スイッチを押します。



2 浴室リモコンのふたを開けて**設定変更**スイッチを押します。

ふろ温度表示が点滅します。
音声ガイドが**“ふろ温度です。Aを押すと高くなります。Bを押すと低くなります。”**と2回お知らせします。

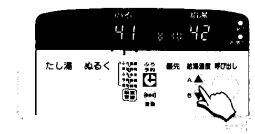


3 ふろ温度を高くしたいときは**A▲**スイッチを、低くしたいときは**B▼**スイッチを押します。

A▲スイッチ、**B▼**スイッチは、ふろ温度表示が点滅している間（約10秒間）に押します。スイッチを1回押すたびに1℃ずつふろ温度が上下します。37℃～48℃の範囲（12段階）で設定できます。

ご使用目安	ぬるい	標準	あつい
	37℃～39℃	40℃～43℃	44℃～48℃

設定したあと何もスイッチを押さないで10秒たつと、ふろ温度表示の点滅が止まり、音声ガイドが**“ふろ温度セットされました。”**とお知らせします。



ご注意ください

●ふろ温度を設定範囲外に設定しようとすると“ピピピピピ”と警告音が鳴ります。

メモ ●設定は記憶されるので、次回からはセットする必要がありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって50分以上通電がない場合は、再セットが必要です。

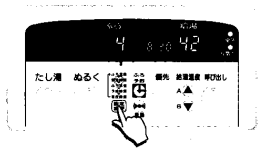
●ふろ温度は、台所リモコン、増設リモコンでは設定できません。

おふろを沸かすには

■保温時間の設定　浴槽のお湯をどのくらいの時間保温するかをセットします。

1 浴室リモコンのふたの内側にある
設定変更スイッチを2回押します。

保温時間表示が点滅します。音声ガイドが**“保温時間です。Aを押すと長くなります。Bを押すと短くなります。”**と2回お知らせします。

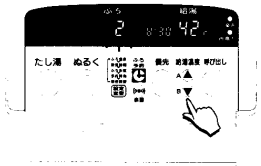


2 保温時間を長くしたいときは
A▲ スイッチを
短くしたいときは**B ▼** スイッチを押します。

A▲ スイッチ、**B▼** スイッチは、保温時間表示が点滅している間（約10秒間）に押します。
スイッチを1回押すたびに以下の範囲で保温時間が設定できます。

0 1 2 3 4 5 6 7 8　（単位：時間）

設定したあと何もスイッチを押さないで10秒たつと、保温時間表示の点滅が止まり、ふろ温度表示に変わります。音声ガイドが**“保温時間セットされました。”**とお知らせします。



ご注意ください

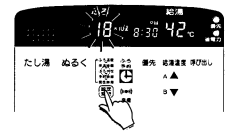
●保温時間や、ふろ水位を設定範囲外に設定しようとすると“ピピピピピ”と警告音が鳴ります。

メモ
●設定は記憶されるので、次回からはセットする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって50分以上通電がない場合は、再セットが必要です。
●保温をしない場合は、保温時間を0に設定してください。
●保温時間やふろ水位は、台所リモコン、増設リモコンでは設定できません。

■ふろ水位の設定　浴槽のお湯の水位をセットします。ふろ水位とは、浴槽に入るお湯の量のことです。

1 浴室リモコンの内側にある
設定変更スイッチを3回押します。

ふろ水位表示が点滅します。
音声ガイドが**“ふろ水位です。
Aを押すと高くなります。
Bを押すと低くなります。”**と2回お知らせします。



2 ふろ水位を高くしたいときは
A▲ スイッチを、
低くしたいときは**B ▼** スイッチを押します。

A▲ スイッチ、**B▼** スイッチは、
ふろ水位表示が点滅している間（約10秒間）に押します。
ふろ水位は ℓ 単位です。スイッチを1回押すたびに
以下の16段階が設定できます。

50 100 120 140 160 180 200 220 240 260 280 300 320 360 400 500

表示は、下1桁が×10ℓ で表示します。

例）180ℓ → 18

設定したあと何もスイッチを押さないで10秒たつと、
ふろ水位表示の点滅が止まり、ふろ温度に変わります。
音声ガイドが**“ふろ水位セットされました。”**とお知らせします。

3 浴室リモコンのふたを閉じます。

メモ
●設定変更スイッチを順に押して「ふろ温度」「保温時間」「ふろ水位」を続けてセットすることもできます。セットすると音声ガイドが**“ふろ温度、保温時間、ふろ水位セットされました。”**と設定した項目についてお知らせします。（ふろ水位とはお知らせしますが湯量のことです。）
●上記のように続けてセットする場合、**設定変更**スイッチは以下のように操作します。

設定変更スイッチ → 1回押す ふろ温度 → 2回目 保温時間 → 3回目 ふろ水位 → 4回目 ふろ予約時刻 → 5回目 現在時刻

●設定は記憶されるので、次回からはセットする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって50分以上通電がない場合は、再セットが必要です。

お願い
●表示される温度や水位は、実際とは多少異なる場合があります。
表示は目安としてお考えください。
●浴槽の種類や施工条件によって、水位を高めにセットするとあふれる場合もあります。
最初は180ℓ（18）で自動運転し、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをお勧めします。

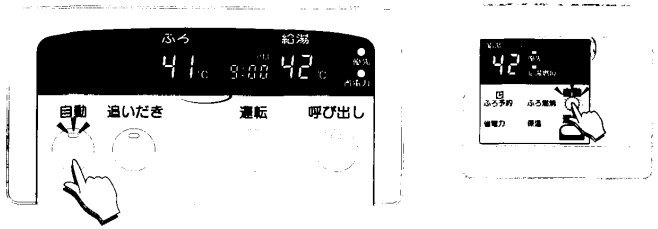
おふろを沸かすには

■自動運転を行う　お好みの設定ができたら、ふろ自動運転でおふろを沸かします。
浴室リモコン、台所リモコンのどちらからでも操作できます。

1 **自動**スイッチを押します。

浴室リモコンの自動ランプ（アカ）が点灯します。
台所リモコンでは**自動**スイッチ（アカランプ）が点灯し、
音声ガイドが**“自動でおふろを沸かします。おふろの栓はしましたか。”**と2回お知らせします。

点灯



浴室リモコンの画面表示が以下のようになって設定内容をお知らせします。

表示例）　ふろ温度表示 41℃ ➡ ふろ水位 200ℓ（20目盛） ➡ 3秒後 ➡ ふろ温度表示　41℃

しばらくすると、浴槽の循環口からお湯が出てきます。
給湯燃焼表示 が表示されます。

給湯燃焼表示

台所リモコンでは給湯燃焼ランプ（アカ）が点灯して、
おふろのお湯張りが始まったことが確認できます。

設定水位に近くなると、浴室リモコン、
台所リモコンからチャイムが鳴り、
音声ガイドが**“もうすぐおふろに入れます。”**と、
2回お知らせします。

給湯燃焼ランプ点灯

ご注意ください

- ●自動運転でおふろを沸かしているときに、停電になると自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。浴槽にたまったお湯が下部循環口位置より低い場合は、排水して通電後、再度、**運転**スイッチと**自動**スイッチを押してください。そのまま自動運転を行いますとあふれる場合があります。また下部循環口より上にお湯がある場合でも、お湯の量やセット温度との差により浴槽水位が一定にならない場合があります。
- ●以下の場合は**“もうすぐおふろに入れます。”**の音声ガイドが流れません。
  1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
  2. 残り湯があってふろ自動運転を行った場合。

おふろの湯を循環させて沸かします。

浴室リモコンでは給湯燃焼表示 が消え、ふろ燃焼表示 が表示されます。
台所リモコンでは給湯燃焼ランプ（アカ）が消灯し、ふろ燃焼ランプ（アカ）が点灯します。

設定されている温度でおふろが沸き上がります。
浴室リモコンではふろ燃焼表示 が消え、自動ランプがアカからミドリに変わります。
台所リモコンではふろ燃焼ランプ（アカ）が消灯し、
保温ランプ（ミドリ）が点灯します。
お湯の温度がふろ温度から給湯の設定温度に戻ります。

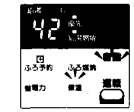
浴室リモコン・台所リモコンからチャイムが鳴り、
音声ガイドが**“おふろが沸きました。”**と
2回お知らせします。
給湯温度を50℃、55℃、60℃のいずれかに設定している場合は、
浴室リモコンでは、**“おふろが沸きました。”**と
いうお知らせの代わりに、
“熱い温度にセットされました。注意してください”
と2回お知らせします。

ふろ燃焼表示

ふろ燃焼ランプ点灯

ランプがミドリになると保温中です。

保温ランプ点灯



入浴できます。

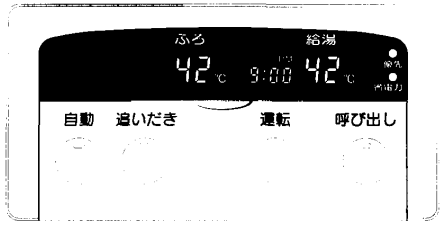
入浴の際は念のため、湯かげんを手で確かめてください。

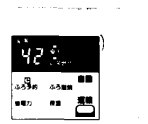
メモ
- ●循環口からのお湯は、「給湯」の設定温度ではなく「ふろ温度」で設定した温度で出ます。
- ●自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に、浴室リモコンの給湯燃焼表示 がついたり消えたりすること（台所リモコンの給湯燃焼ランプがついたり消えたりすること）は異常ではありません。
- ●自動運転のお湯張り中に台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ温度の設定温度でお湯が出ます。またその際、お湯は分配されるので、お湯張り時間は長くなります。
- ●50分以上の停電後の自動運転は、お湯張りから沸き上げまでの時間が多少長くなります。これは、機器がおふろの水位を正確にするための動作によるものです。
- ●浴槽の残り湯がない状態で自動運転をするとお湯が出る前に数分間、ポンプの運転音が聞こえることがありますが異常ではありません。

おふろを沸かすには

設定した保温時間内で、浴槽の湯温を保ちます。

約15～30分の間隔でポンプが回って温度を検知し、
温度が下がっていると自動的に設定ふろ温度まで、おふろを沸かして保温します。





設定した保温時間を過ぎると、「ふろ自動運転」が停止します。
浴室リモコンは**自動**ランプ（ミドリ）が消灯します。
台所リモコンは**自動**スイッチ（アカランプ）、保温ランプ（ミドリ）が消灯します。

■沸かし直しをするには

保温時間が過ぎたあとの残り湯を沸かし直します。

1 浴室リモコンまたは台所リモコンの**自動**スイッチを押します。

浴室リモコンでは自動ランプ（アカ）が点灯します。
台所リモコンでは**自動**スイッチ（アカランプ）が点灯します。
おふろが沸くまでの状態は、「ふろ自動運転」と同じです。
詳しくはP.21「自動運転を行う」をご覧ください。
残り湯の温度とセット温度の差が少ない（約7℃未満）場合、自動的にたし湯せずに、セット温度に沸かし上げます。温度差が大きい場合は、自動的にたし湯したのち、セット温度に沸かし上げます。たし湯後の浴槽の水位とセット水位は、一致しないことがあります。

点灯する

点灯する

メモ
- ●残り湯がある場合は、すぐにお湯入れを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで異常ではありません。
- ●保温中は、ふろ燃焼ランプが点灯することがあります。
- ●残り湯が浴槽の下部循環口位置より低い場合は、排水してください。そのまま自動運転を行いますと、あふれる場合があります。残り湯の沸かし直しは必ず、下部循環口より上にお湯（水）があるときに操作してください。ただし残り湯の水位、残り湯温度との差により浴槽水位が一定とならない場合があります。

■次回からの毎回の操作

ふろ温度やふろ水位などの設定は記憶されています。設定を変更したいとき以外は、毎回ふろ自動運転で簡単におふろが沸かせます。

1 浴室リモコンまたは台所リモコンに給湯温度が表示されているか確認します。

表示されていないときは、**運転**スイッチを押します。

点灯する

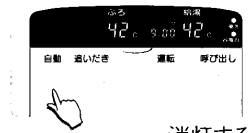
2 **自動**スイッチを押します。

浴室リモコンでは自動ランプ（アカ）が点灯し、台所リモコンでは**自動**スイッチ（アカランプ）が点灯して、ふろ自動運転が始まります。

点灯する

消灯する

停止 ふろ自動運転を停止したいときは、もう一度**自動**スイッチを押します。
浴室リモコンでは自動ランプ（沸き上がりまではアカ、保温状態ではミドリ）が消灯します。台所リモコンでは**自動**スイッチ（アカランプ）、保温ランプ（ミドリ）が消灯します。



消灯する

メモ
- ●残り湯が下部循環口の上まで入っていても残り湯の温度とセット湯温の差が少ない（約7℃未満）場合、たし湯しないときがあります。希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、**たし湯**スイッチを押してたし湯してください。
- ●省電力モードでも、ふろ自動運転中（保温中含む）は、画面が表示しています。

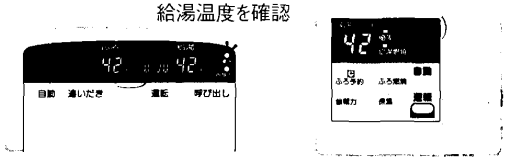
お湯を使うには

■操作の基本　リモコンをONにして給湯栓をあけるだけの簡単操作でお湯が使えます。

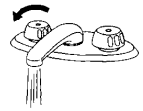
1 浴室リモコンまたは台所リモコンに**給湯温度**が表示されているか確認します。

表示されていないときは、**運転**スイッチを押します。

給湯温度を確認

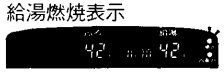


2 給湯栓を開けます。



しばらくしてお湯が出ます。
はじめてお使いになるときの給湯温度は42℃に設定されています。
浴室リモコンには給湯燃焼表示 🔥 が表示されます。
台所リモコンでは給湯燃焼ランプ（アカ）が点灯します。

給湯燃焼表示



給湯燃焼ランプが点灯

お湯を止めるには　お湯を止めるには、給湯栓を閉じます

お湯が止まると、浴室リモコンでは給湯燃焼表示 🔥 が消え、台所リモコンでは給湯燃焼ランプ（アカ）が消灯します。（ただし、他の給湯栓が使用中のときや、自動運転のお湯張り中は消えません。）

⚠警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

ご注意ください

●給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

お願い
●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません（配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります）。
●給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
●水温が30℃近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

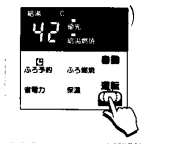
おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。
給湯は、浴室リモコン、台所リモコン、また増設リモコンのいずれからでも操作できます。

■優先の切替えについて　台所の給湯温度と同じ温度で浴室のシャワーを使うと熱い場合があります。給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。シャワーを使うときは、浴室リモコンを優先にし、浴室リモコンで設定した湯温でシャワーを使えます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

1 入浴しない時間帯など、台所・洗面所のお湯を頻繁に使うときは、最初に台所リモコンの**運転**スイッチを押します。

優先ランプ（ミドリ）が点灯します。台所リモコンが優先となり、台所のお湯の温度調節ができます。

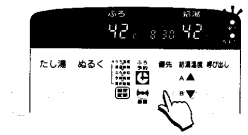
優先ランプが点灯



2 浴室リモコンが優先のときに、台所リモコンを優先にするには**優先**スイッチを押します。

優先スイッチは、押すごとに優先が台所リモコン←→浴室リモコンと切替わります。

点灯→浴室リモコンが優先
消灯→台所リモコンが優先



お願い ●**運転**スイッチをOFFにして再度ONに入れ直すと、そのリモコンを優先にすることができます。ただし、この方法で優先を台所リモコンに切替えると、ふろの自動運転や追いだき運転などが運転中だった場合、すべて停止してしまうのでご注意ください。
優先切替は、浴室リモコンの**優先**スイッチで行うことをお勧めします。

ご注意ください

浴室でシャワーを使用するときは浴室リモコンを優先にして、給湯温度表示を確認してください。なお、浴室リモコンが優先のときは、台所リモコンで給湯温度の調節ができません。

メモ
●別売の増設リモコン（36-640型）を設置している場合
・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先があります。
・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの**運転**スイッチをＯＮにすると、増設リモコンと台所リモコンに優先ランプ（ミドリ）が点灯し、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。
●給湯温度を６０℃に設定したリモコンに優先を切替えた場合、やけど防止のため自動的に５５℃にセットされます。
●浴室リモコンに優先がないときに、**給湯温度**スイッチを押しても優先が移ります。

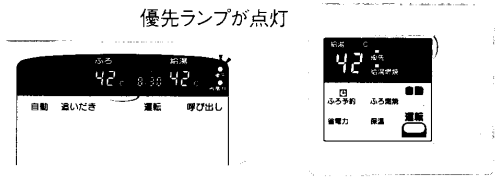
お湯を使うには

■給湯温度の調節　シャワーや台所で使うお湯の温度を調節します。

1 給湯温度を調節したいリモコンに
優先ランプ（ミドリ）が点灯しているか確かめます。

浴室リモコンの**優先**スイッチを押すと、
優先ランプ（ミドリ）の点灯を浴室リモコン・台所リモコンのどちらかに切替えられます。

優先ランプが点灯

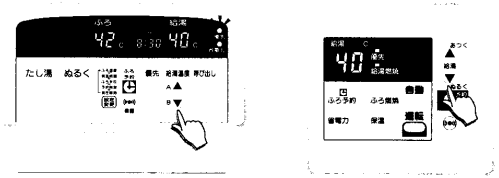


2 浴室リモコンまたは台所リモコンのふたを開けます。

3 浴室リモコンでは**給湯温度**スイッチ、
台所リモコンでは**給湯**スイッチで給湯温度を調節します。

▲ スイッチを押すと温度が高くなります。
▼ スイッチを押すと温度が低くなります。
以下の14段階で設定できます。

37　38　39　40　41　42　43　44　45　46　47　50　55　60℃



4 ふたを閉じます。

⚠警告　●シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。

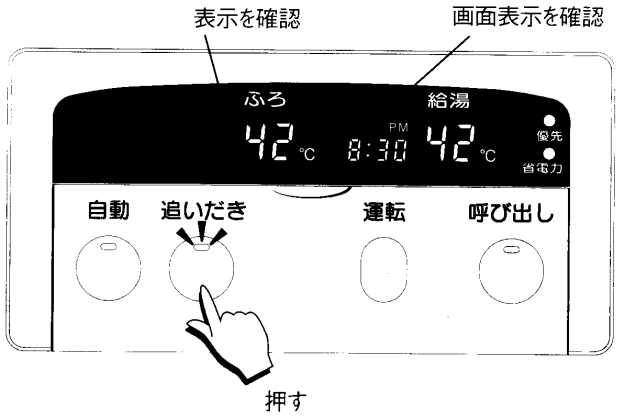
ご注意ください

●優先ランプが点灯していない台所リモコンで給湯温度を設定しようとすると、“ピピピピピ”と警告音が鳴り、音声ガイドが**“運転スイッチを入れ直してから温度をセットしてください。”**とお知らせします。
●上記のような場合、**運転**スイッチをOFFにして再度ONに入れ直すと、そのリモコンが優先となります。ただし、入浴中でないことを確認してから行ってください。
●50℃、55℃、60℃に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが**“熱い温度にセットされました。注意してください。”**と2回お知らせします。

お願い
●優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、台所リモコン・浴室リモコンでは自動的に55℃にセットし直されます。
●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）に台所リモコンの**給湯**スイッチや、浴室リモコンの**給湯温度**スイッチを押すと“ピピピピピ”と警告音が鳴ります。
●55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃には設定できません。60℃に設定しようとすると“ピピピピピ”と警告音が鳴って受け付けません。
●上記で60℃に設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。

メモ
●ふろ自動運転中のシャワーはふろ設定温度で出湯されます。自動運転が終了したあとは給湯の設定温度に戻ります。
●はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、50分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が42℃になります。再度セットし直してください。
●通常、給湯温度は**運転**スイッチをOFFにしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度**運転**スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
●表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

ぬるくなったお湯を熱くするには(追いだき)



お願い ●表示されているふろ温度と浴槽内の温度は、配管の長さや外気温によって異なることがあります。目安としてお使いください。

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます
この機能を「追いだき」といいます。追いだき運転は、浴室リモコンで操作します

1 浴室リモコンがONになっていて画面が表示されているかを確認します。

リモコンがOFFのときは、**運転**スイッチを押します。

2 **追いだき**スイッチを押します。

追いだきランプ(オレンジ)が点灯します。

3 点灯を確認。

しばらくしてふろ燃焼表示 が表示されます。

追いだきを止めるには

追いだきを止めるには、**追いだき**スイッチをもう一度押します。

追いだきランプ(オレンジ)が消灯し、ふろ燃焼表示 が消えます。

⚠注意 追いだきの操作をするときは、浴槽の上部循環口より、上に湯(水)があることを確認する。
また、循環口がひとつの場合は、その循環口より、上に湯(水)があることを確認する。

メモ
- ●追いだきで停止の操作をしない場合は、現在温度+2℃で沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度(現在温度+2℃)が設定ふろ温度より低いと設定ふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。
- ●一度、追いだきをして自動停止し、もっと熱くしたいときは、もう一度**追いだき**スイッチを押してください。お好みの湯かげんになったら、**追いだき**スイッチを押して停止してください。

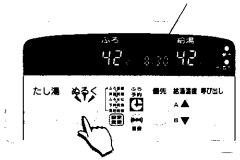
お湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱くてぬるくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水（約12ℓ）を入れて停止し、約1分間のかくはんを行います。
「ぬるく運転」は浴室リモコンで操作します。

1 浴室リモコンがONになっていて、画面が表示されているかを確認します。

リモコンがOFFのときは、
運転スイッチを押します。

画面表示



押す
ぬるくランプが点灯

2 浴室リモコンのふたを開け、**ぬるく**スイッチを押します。

ぬるくランプ（オレンジ）が点灯します。
しばらくすると、おふろの循環口から水が出てきます。
約12ℓ水が入って約1分間のかくはんが終ると、
ぬるく運転は自動停止し、
ぬるくランプ（オレンジ）が消灯します。
もっとぬるくしたいときは、
もう一度**ぬるく**スイッチを押してください。

3 水を入れている途中で、お好みの湯かげんになったら**ぬるく**スイッチを押します。

ぬるく運転が停止し、
ぬるくランプ（オレンジ）が消灯します。

メモ ●ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。

お願い ●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）や給湯使用中は、**ぬるく**スイッチを使用できません。これらの状態のとき**ぬるく**スイッチを押すと“ピピピピピ”と警告音が鳴ります。給湯燃焼表示またはふろ燃焼表示 が消えてから、**ぬるく**スイッチを押してください。

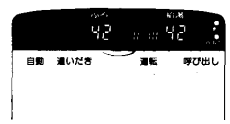
お湯をたしたいときには

浴槽のお湯の量を増やしたいときには、「たし湯運転」があります。この機能では、自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れたあと、約1分間のかくはんを行います。「たし湯運転」は浴室リモコンで操作します。

1 浴室リモコンがONになっていて、画面が表示されているかを確認します。

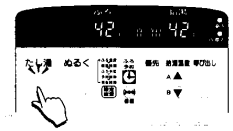
リモコンがOFFのときは、
運転スイッチを押します。

画面表示



2 浴室リモコンのふたを開け、**たし湯**スイッチを押します。

たし湯ランプ（アカ）が点灯し、給湯燃焼表示 が表示されます。しばらくすると、おふろの循環口からお湯が出てきます。
約24ℓたし湯され、約1分間のかくはんが終ると、たし湯運転は自動停止します。
運転が自動停止すると、たし湯ランプ（アカ）が消灯し、給湯燃焼表示 が消えます。



押す
たし湯ランプが点灯

3 たし湯の途中で、お好みの湯量になった場合は**たし湯**スイッチを押します。

たし湯運転が停止します。
たし湯ランプ（アカ）が消灯し、
給湯燃焼表示 が消えます。

メモ ●たし湯運転中の給湯温度表示には、セットされている「ふろ温度」が表示されます。たし湯運転が終ると、「給湯設定温度」に戻ります。このとき、給湯設定温度が50℃以上の場合はチャイムが鳴り、音声ガイドが**“熱い温度にセットされました。注意してください。”**と2回お知らせします。
●給湯使用中に、たし湯を開始すると給湯温度はふろ設定温度になります。給湯設定温度にもどすには、たし湯終了後給湯を一旦停止してください。

お願い ●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）は、**たし湯**スイッチを使用できません。
たし湯スイッチを押すと“ピピピピピ”と警告音が鳴ります。

おふろが沸く時間を予約する

■予約運転をする前には　予約運転は次のような操作で行います。

予約時刻を合わせる → 予約運転をONにする → 予約時刻におふろが沸きます

予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- ●浴槽の排水栓が閉めてあり、おふろのふたがしてあるかを確認。
- ●現在時刻があっているかを確認。(P. 16 参照)
- ●予約時刻を確認。(P. 34 参照)
- ●ふろ温度設定、保温時間設定、ふろ水位設定を確認。(P. 18～20参照)

ご注意ください

- ●予約をセットしたあと、**追いだき・たし湯・自動・ぬるく**スイッチを押すと、予約が解除されるのでご注意ください。

家に帰れば、自動でおふろが沸いている…　そんなちょっと贅沢で便利な機能が「予約運転」です。
予約時刻をセットしておけば、その時刻に入浴できるよう機器が自動でおふろを沸かします。

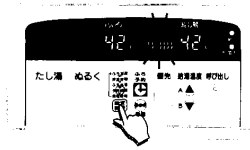
■予約時刻の合わせ方　おふろの沸き上げが完了する時刻をセットします。
浴室リモコンで操作します。

1 浴室リモコンがONになっていて画面が表示されてるかを確認します。

OFFになっている場合は、**運転**スイッチを押します。

2 ふたを開いて**設定変更**スイッチを4回押します。

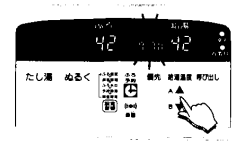
予約表示 と時刻表示が点滅します。音声ガイドが**"予約時刻です。Aを押すと時の位が変わります。Bを押すと分の位が変わります。"**と2回お知らせします。



3 **A▲** スイッチ・**B▼** スイッチを押して、予約時刻を合わせます。

A▲ スイッチは時の位、**B▼** スイッチは分の位が調節できます。
これらのスイッチは、予約表示 と時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押します。
図は午後9時30分にセットしたことを示します。

設定したあと何もスイッチを押さないで10秒たつと、予約表示 と時刻表示の点滅が止まり、音声ガイドが**"予約時刻セットされました。"**とお知らせします。
予約表示 が消え、現在時刻表示に戻ります。



4 リモコンのふたを閉じます。

メモ ●出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。

おふろが沸く時間を予約する

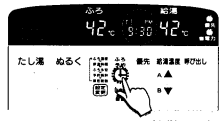
■予約運転をONにする　予約運転を実行するためのスイッチを入れます。
浴室リモコン、台所リモコンのどちらでも操作できます。

1 浴室リモコンまたは台所リモコンに給湯温度が表示されているか確認します。

表示されていないときは、
運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、**ふろ予約**スイッチを押します。

浴室リモコンは予約表示 と
予約時刻が表示されます。
約3秒たつと現在時刻表示に戻ります。
台所リモコンでは、
ふろ予約ランプ(ミドリ)が点灯し、
音声ガイドが **"予約されました。おふろの栓はしましたか。"** と
2回お知らせします。



3 ふたを閉じます。

予約時刻におふろが沸くように
「ふろ自動運転」が始まります。
セットした予約時刻になると
音声ガイドが **"おふろが沸きました。"** と
2回お知らせします。

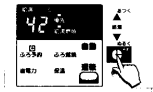
メモ
- ●浴室リモコンに予約表示 が表示されたあとは、**運転**スイッチをOFFにしても予約運転が行われます。この場合、予約表示と現在時刻のみ表示されます(台所リモコンは、ふろ予約ランプ(ミドリ)が点灯します)。
- ●セットした予約時刻は記憶されるので、入浴する時刻が決まっているときは、予約時刻を毎回セットする必要はありません。(予約運転は毎回セットして行ってください。)
- ●予約運転でおふろを沸かしたときは、自動保温も行います。保温時間は、ふろ自動運転で設定した時間です。
- ●予約時刻におふろが沸くように、約20～40分前よりふろ自動運転が始まります。
- ●水温や浴槽の大きさにより、ふろ自動運転の開始がかわります。

■予約に関するその他の操作

予約を取消したいときは

予約スイッチを押します。

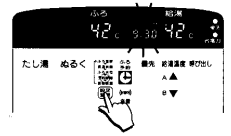
予約表示 が消えます。
台所リモコンは、ふろ予約ランプ(ミドリ)が消灯します。
すでに予約運転が始まっていて、
浴室リモコンの自動ランプ(アカまたはミドリ)や
台所リモコンの**自動**スイッチ(アカランプ)が
点灯しているときは、
自動スイッチを押してください。
これらのランプが消灯して運転が停止します。



予約時刻を確認したいときは

設定変更スイッチを4回押します。

予約時刻表示が点滅しますので
確認してください。
そのまま10秒たつと現在時刻に戻ります。



予約時刻を変更したいときは

予約時刻をセットするときと同様の操作で変更します。
(P. 34参照)

お願い
- ●自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は予約スイッチを操作できません。
スイッチを押すと"ピピピピピ"と警告音が鳴ります。
- ●停電や電源プラグを抜いた場合など50分以上通電が止まり、再通電したあとは現在時刻や予約時刻が初期設定時間(現在時刻AM1:00、予約時刻PM6:00)になります。
この場合は再セットが必要です。(現在時刻P. 16、予約時刻のセットP. 34参照)
- ●予約したあとに停電があると、予約が解除され、ふろ自動運転が行われません。

電気を節約した表示方法にする

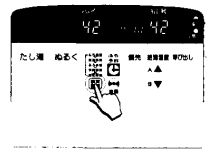
浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作をしないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。このモードを使うことで**運転**スイッチOFF時よりさらに電気の節約になります。

1 浴室リモコンがONになっていて
画面が表示されているか確認します。

リモコンがOFFのときは、**運転**スイッチを押します。

2 ふたを開け、**設定変更**スイッチを
5秒以上押し続けます。

省電力ランプ(ミドリ)が点灯し、
音声ガイドが**"省電力セットされました。"**と
2回お知らせします。
台所リモコンも同時に省電力モードになり、
省電力ランプ(ミドリ)が点灯します。



3 ふたを閉じます。

その後30秒以上何も操作がない、および
ふたを開けない場合には、
すべての画面表示が消えます。

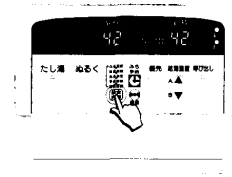
4 省電力モードに入っていて
画面を表示するには。

運転スイッチを押すか、
ふたを開けると、再び画面表示します。
(自動、追いだき運転や呼び出しをしたいときは
そのまま各スイッチを押しても画面表示し、
実際に各スイッチの運転状態に入ります。)

省電力モードを解除

設定変更スイッチを
5秒以上押し続けます。

省電力ランプ(ミドリ)が消灯します。



メモ

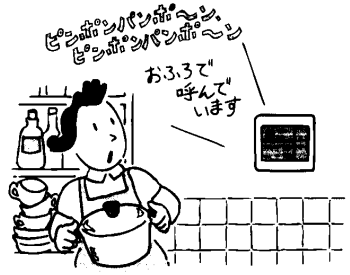
- ●省電力モードにしたとき、浴室リモコンや台所リモコンで何も操作していなくても、他の場所でお湯を使っている場合は、画面表示します。
- ●省電力モードで画面が消えているとき、給湯の優先が浴室リモコンにあって台所リモコンに優先を移す場合は、次の手順で行ってください。(省電力ランプが点灯中)
  ①台所リモコンの**運転**スイッチを押してON(画面表示あり)にし、もう一度**運転**スイッチを押してOFFにします。
  ②再度、**運転**スイッチを押してON(画面表示あり)にします。台所リモコンが優先となります。
- ●省電力モードで画面が消えているとき、台所、増設リモコンのふたを開けても画面表示はされません。
- ●予約運転のセット中は、台所リモコンのふろ予約ランプは、省電力モードでも消えません。

浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）

浴室にいる時に何か必要なものがあって人を呼びたい、あるいは気分が悪くなった時などに、押すだけで台所リモコンのチャイムを鳴して知らせる**呼び出し**スイッチを用意しました。
浴室からお部屋にいる人を呼びたいときにご利用ください。

1 浴室リモコンの**呼び出し**スイッチを押します。

浴室リモコンで“ピンポーン”とチャイムが鳴ります。
呼び出しスイッチを押すと呼び出しランプ（ミドリ）が点灯し、離すと、約5秒間点滅して、消灯します。
台所リモコンで**“ピンポンパンポーン、ピンポンパンポーン”**とチャイムが鳴り、呼び出し音声が**「おふろで呼んでいます。おふろで呼んでいます。」**とお知らせします。

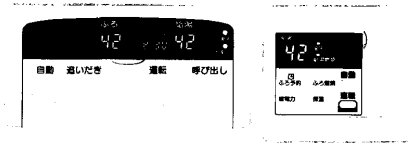


メモ
- **運転**スイッチのON、OFFに関係なく操作できます。
- インターホンの機能はついていません。

チャイムや音声ガイドの音量を調節する

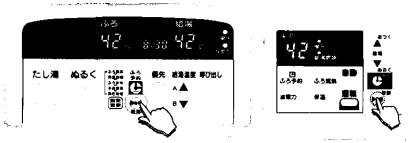
浴室リモコンや台所リモコンから流れるチャイムや警告音、音声ガイドの音量は、大きくしたり小さくしたり、無音にしたりすることができます。音量は浴室リモコン・台所リモコンで別々に設定できますので、お好みに応じてそれぞれに設定してください。

1 浴室リモコンまたは台所リモコンに給湯温度が表示されているか確認します。



表示されていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 浴室リモコンまたは台所リモコンのふたを開け、**音量**スイッチを押します。



音量は、大・中・小・無音の4段階で設定できます（初期設定は「大」になっています）。
音量スイッチを1回押すごとに次のように設定できます。

音量 ➡ 大 ➡ 中 ➡ 小 ➡ 無音 ➡

3 ふたを閉じます。

メモ
- 設定した音量は、**運転**スイッチをOFFにしても記憶されています。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで**呼び出し**スイッチが押されたときには台所リモコンから呼び出し音声ガイドが流れます。
- 台所リモコンの呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の“ピッ”という音の音量は調節できません。

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき（外気温－１５℃程度まで）
この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターと、自動的に浴槽の水（湯）を循環して機器内や追いだき配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。そのため外気温－15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、**運転**スイッチのON／OFFに関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

1. 給湯栓の水を流す方法　　**2.** 機器の水を抜く方法

1. 給湯栓の水を流す方法

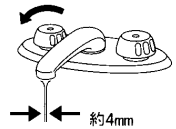
この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

■給湯側

1 **運転**スイッチを押してリモコンをOFFにします。

2 ガス栓を閉じます。

3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc（牛乳びん2本ぐらい）の水を流し続けます。
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



■ふろ側

1 凍結予防装置により自動的に浴槽の水（湯）を循環して機器内や追いだき配管の凍結を予防します。（■凍結予防装置についてをご覧ください。）

●浴槽の残り湯は捨てないで、そのままにしておいてください。

お願い
●凍結予防装置は電源プラグを抜くと作動しません。絶対に、電源プラグは抜かないでください。
●機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。
●次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、**運転**スイッチをONにしてください。

メモ
●**1.** 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

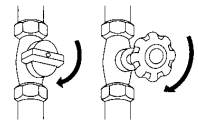
凍結を予防するための操作について説明します

2. 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

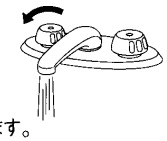
⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

1 ガス栓（1）、給水元栓（2）を閉じます。



2 給湯側水抜き栓（3）（4）を外します。

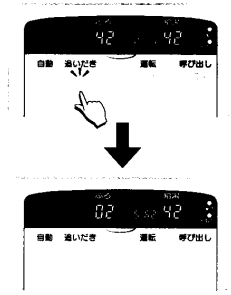
3 すべての給湯栓を全開にします。

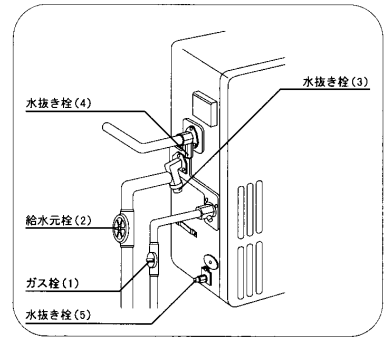


4 浴槽の水を排水します。

5 浴室リモコンの**運転**スイッチを押してONにします。

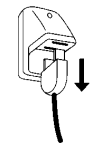
6 **追いだき**スイッチを押し、画面にアラーム番号「562, 02」が点滅するまでそのままにします。





7 追いだき側水抜き栓（5）を外します。

8 必ず電源プラグを抜きます。（電源プラグを抜き忘れますと機器の故障の原因となります。）



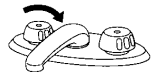
お願い
●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
●水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。

冬期の凍結予防をするには

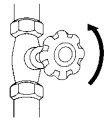
■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

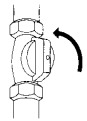
1 水抜き栓(3)(4)(5)および
すべての給湯栓を閉じます。

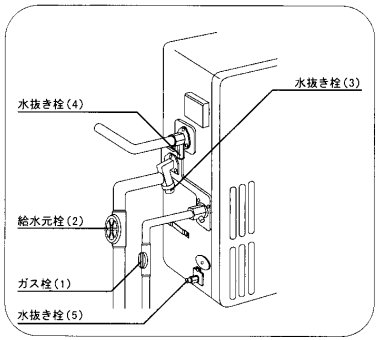


2 給水元栓(2)を開けて、
すべての給湯栓から
水が出ることを確認します
(機器や配管より水漏れが
ないか確認してください)。

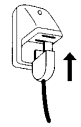


3 ガス栓(1)を開けます。

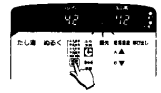




4 電源プラグを
差し込みます。



5 リモコンで、ふろ温度・ふろ水位・
保温時間・給湯温度・現在時刻・
予約時刻をセットしなおします。



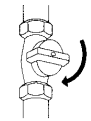
6 ふろ自動運転を行い、浴槽に湯を張り、
水位などを確認します。

お願い
- ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
- ●水抜き栓の閉じ忘れなどによる水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合は修理・補修費用が、かかります。

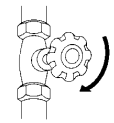
■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。
解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓(1)を閉じます。



2 給水元栓(2)を閉じます。
(配管が破損していると、解凍した
ときの水漏れの原因になります。)



3 **運転**スイッチをOFFにします。

4 ときどき給水元栓を開けて、
給湯栓から水が出ることを確認します。
水が出てくれば使用できます。
通水したら機器および配管より
水漏れがないことを確認してください。
ガス栓(1)を開けます。

5 **運転**スイッチをONにします。

お願い
- ●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額の修理費用(有料)がかかる場合があります。
- ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。
- ●機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント

次の7つのポイントで点検してください。

1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2 機器および配管からガスの臭気がしませんか?

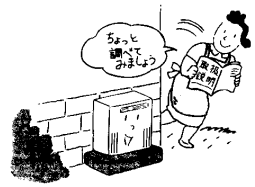
3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか?

4 機器の外観に異常は見られませんか?

5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか?

6 浴槽に循環口フィルター・キャップがついていますか?

7 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか?
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

●汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。

■定期点検のおすすめ(有料)

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

ご注意ください
●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
●台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い
●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

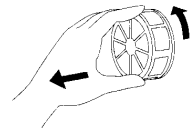
■循環口フィルターの掃除

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、ひどいときには追いだきができなくなります。

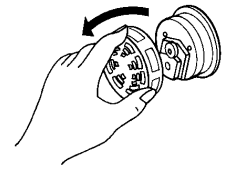
循環口フィルターの外し方

付属の下部循環口フィルターおよび他の循環口フィルターの外し方は、左に回して手前に引きます。

付属の下部循環口フィルター(浴槽2穴用)

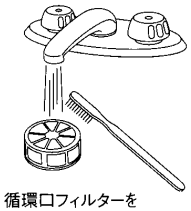


(浴槽1穴用)



循環口フィルターを掃除する

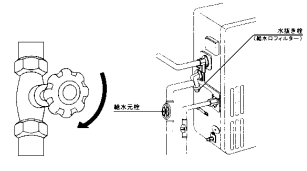
歯ブラシなどで洗います。



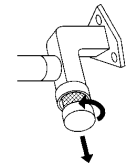
掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。
そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築や井戸ポンプの場合)

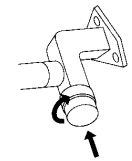


1 給水元栓を閉じる。



2 給水接続口にある水抜き栓を外す。

3 歯ブラシなどで洗う。



4 元のように取り付ける。

お願い
●循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。
循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
●給水口フィルターを外すと水が出ます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に表示が出ない	省電力モードになっていませんか (→37ページ) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→15ページ) 停電していませんか (→8ページ)
アラーム番号「252」「542」が点滅し、動作しない (台所リモコンは、「25」「54」とふろ燃焼ランプが点滅)	給水元栓が全開になっていますか (→15ページ) 断水していませんか おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→17ページ)
給湯燃焼表示が表示しない (台所リモコンは、給湯燃焼ランプが点灯しない) お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか (→15ページ) 給水元栓が全開になっていますか (→15ページ) 断水していませんか 給湯栓が十分開いていますか (→25ページ)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→25ページ) 温度調節は適切ですか (→27ページ) 混合水栓やサーモミキシングバルブをお使い、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃にセットしてください
ふろ燃焼表示が表示しない (台所リモコンは、ふろ燃焼ランプが点灯しない)	ガス栓が全開になっていますか (→15ページ) 浴槽に水が入っていますか
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか (→15ページ) 設定温度が低過ぎませんか (→18ページ)
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度のセットは適切ですか (→18ページ)
浴槽の水が少ない(多い)	ふろ水位のセットは適切ですか (→20ページ)

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。
まずは次の点を確認してください。

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約2.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが、故障ではありません。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」・「自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時計表示が合っていない	50分以上の停電後、再通電すると表示画面がAM1:00になります。なお、ふろ水位・温度設定・予約時刻・保温時間等も初期状態に戻りますので再設定してください。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

故障かな?と思ったら

●不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
●アラーム番号が表示、点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム№	内容	処置方法	使用状態
101	自己診断能力ダウン	修理を依頼する	給湯・自動・たし湯
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット操作※	給湯・自動・たし湯
112	ふろ側点火不良		自動・追いだき
121	給湯側失火		給湯・自動・たし湯
122	ふろ側失火		自動・追いだき
140	空だき安全装置作動、電磁弁OFF	修理を依頼する	給湯・自動・たし湯・追いだき
252	ふろ水流スイッチ異常		自動・追いだき
311	出湯温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
312	ふろサーミスタ断線		自動・追いだき
321	入水温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
331	混合湯サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
391	サーモカップル異常		給湯・自動・たし湯
422	注湯量センサー異常		自動・ぬるく・たし湯
510	元ガス電磁弁故障		給湯・自動・たし湯・追いだき
511	給湯ガス電磁弁故障		給湯・自動・たし湯

アラーム№	内容	処置方法	使用状態
512	追いだきガス電磁弁故障	修理を依頼する	自動・追いだき
561	バイパス水電磁弁異常		給湯・自動・たし湯
562	湯電磁弁異常		給湯・自動・たし湯
610	ファン回転故障		給湯・自動・たし湯・追いだき
651	水制御弁異常		給湯・自動・たし湯
700	電磁基板故障		過電時
711	給湯電磁弁回路不良		給湯・自動・たし湯
712	ふろ電磁弁回路不良		自動・追いだき
721	給湯側プリ・ポスト不良		給湯・自動・たし湯
722	ふろ側プリ・ポスト不良		自動・追いだき
740	台所リモコン通信異常		過電時
760	浴室・増設リモコン通信異常		過電時
901	給気汚染異常		給湯・自動・たし湯
991	自己診断燃焼異常		給湯・自動・たし湯

※リセット操作：運転スイッチを一度「切」にし、3秒経過してから再度運転スイッチを「入」にする。

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に、補足の番号が出ることがあります。ご連絡のときは、あわせてアラーム番号をお知らせください。台所リモコンは、簡易表示のため、アラーム番号の左側2桁を表示・点滅します。給湯側の場合は、アラーム番号と給湯燃焼ランプが同時に点滅します。ふろ側の場合はアラーム番号とふろ燃焼ランプが同時に点滅します。ただし、アラーム番号140、510、610、700、740、760、の場合は燃焼ランプは点滅しません。

操作 リセット

運転スイッチを一度「切」にし、
3秒以上経過してから、
運転スイッチを「入」にする。

■こんな場合には安全装置が働きます　（　）はアラーム番号

●寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を防止します。……凍結予防装置
●バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。(121、122) ……立消え安全装置
●電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……漏電安全装置
●給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721、722) 残火安全装置
●機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(140) ……過熱防止装置
●機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。…過圧防止安全装置

メモ ●アラーム番号“101”のときは自己診断機能により給湯能力がさがります。(16号から約12号に)使用はできますが十分な給湯機能が出ない状態ですので修理を依頼してください。(自己診断機能とは、機器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいいます。自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します。)

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●47～49ページの「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡してください。
●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
(1) 氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印等）
(2) 品名　32-508型　(N)32 508(U) 大阪ガス株式会社
（ガスの種類例えば13A）
（上のようなラベルを機器前面に貼付けてあります。）
(3) 現象（故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく）
(4) 訪問ご希望日

保証について

●このガスふろ給湯器には保証書がついています。
●必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後10年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。お問い合わせは、別紙「大阪ガスのお問い合わせ先」をご覧ください。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1) ガス栓を閉じます。
(2) 給水元栓を閉じます。
(3) 機器の水抜きを行います。
（水抜き方法は、42ページを参照してください）
(4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目			内容
品名			32−508型
型式名			GN−160AR−1
外形寸法(mm)/質量(kg)			幅600×奥行225×高さ600/37
種類	給湯方式		先止め式
	設置方式		屋外据置形
点火方式			AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
水圧	使用水圧		80～500kPa(0.8～5.0kgf/cm²)
	最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/cm²)
接続	ガス		15A(R1/2)オネジ
	給水・給湯		15A(R1/2)オネジ
	追いだき往・戻		φ45{15A(Rc1/2)メネジ}
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)
	リモコン側		24V以下
	消費電力	無負荷	8W(省電力モード時5W)
		同時使用	160W/180W
		凍結予防時	電気ヒーター給湯側95W追いだき側40W 同時190W/220Wポンプ運転100W/135W
	電源コード		VCT(2芯)機外長2.0m
安全装置			ファン回転検出装置(回転数検知方式) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 残火安全装置(バイメタル式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誘導雷保護装置(サージーアブソーバー) 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) 沸騰防止装置(バイメタル)

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h} 給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	出湯能力(最大時)(ℓ/min) 水温+25℃上昇	 水温+40℃上昇	ガス接続
都市ガス	13A	46.5{40,000}	34.9{30,000}	11.6{10,000}	16.0	10.0	15A (R1/2)
LPガス		46.6{3.33kg/h}	35.0{2.50kg/h}	11.6{0.83kg/h}	16.0	10.0	

◌ ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
◌ 出湯能力は、水圧200kPa {2kgf/cm²} のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◌ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

MEMO